

「北九州市地域コミュニティビジョン」の
策定について

北九州市総務市民局

持続可能な
地域コミュニティの形成にチャレンジ！

地域コミュニティビジョンの策定に向けて

北九州市 地域振興課



北九州市の地域コミュニティ
多様な主体が様々な活動でコミュニティを支えている



自治会・町内会

まちづくり協議会

社会福祉協議会

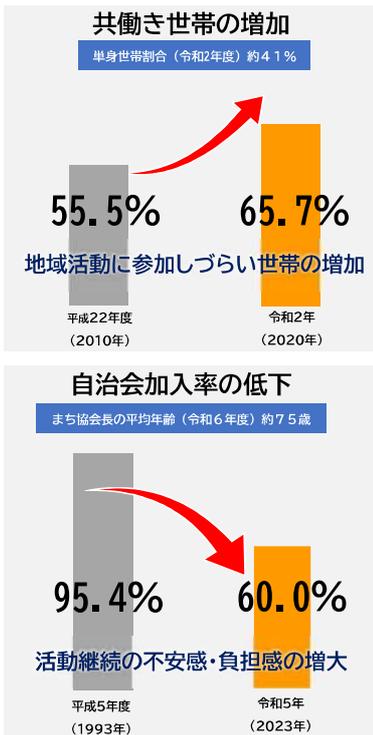
NPO・ボランティア

団体・企業・事業所

学校・大学



北九州市の地域コミュニティが抱える課題



“広がる”地域課題、“縮む”地域コミュニティ



2040年の社会情勢

超高齢社会の進行

テクノロジーの進化

人生100年時代の到来

時代の変化にあった**新しい地域コミュニティ**とは？

持続可能な時代の変化に対応できる「地域コミュニティビジョン」

時代の変化を踏まえた地域コミュニティの**将来像**

骨太の方針

北九州市地域コミュニティビジョン

未来像「多様な主体による全世代参加型地域コミュニティ」

- ① 望ましい未来像を描き、そこから逆算して課題を解決
- ② ～3つの大事な視点～
 - ・必要に応じて現状から変化
 - ・関係者の垣根を越えて接続・連携
 - ・好循環を生み出していく
- ③ 市民性・気質を踏まえた議論を

開催中

地域コミュニティビジョン検討会議(自治会・まちづくり協議会関係者や有識者、Z世代等が参加)

≪検討会議での意見(抜粋)≫

- ・これまで地域で先輩方が取り組んできたことを継続できればいいが、すべては難しい。発想を変えていかないといけない。
- ・地域コミュニティが担っていることを将来すべて維持はできない状況。どの機能を残すべきか、という議論は必要だ。
- ・これからは企業・NPOの協力が必要。何が必要か地域で考えていく方が良い。
- ・大学生に所属団体の活動を紹介してみたら「自分も参加してみたいが情報が無い」という声があった。活動を「見える化」していく必要があると感じた。

※ 会議の資料や様子は市HPやYouTubeで公開中。

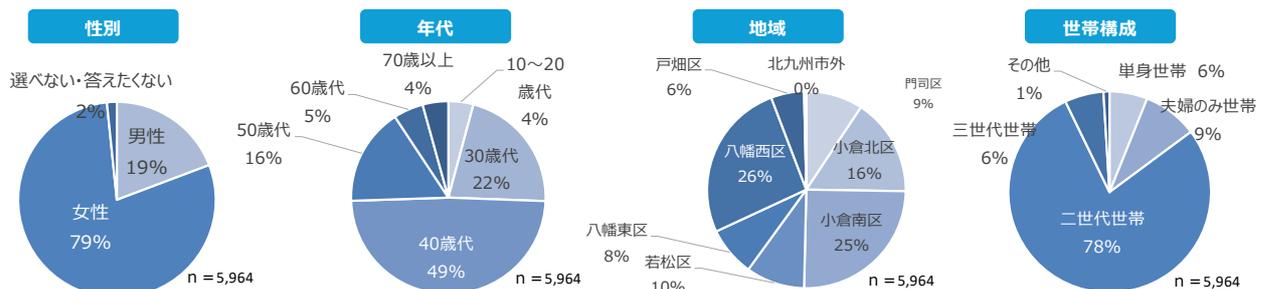
市民、地域団体など様々な方に意見を伺いながら議論を進めます

「北九州市地域コミュニティビジョン」を策定

地域コミュニティに関する市民アンケート調査について

アンケートの結果(概要)

1. 目的
地域活動へ参加していない(参加が期待される)層を中心とした現状・ニーズの把握
2. 手法
Webアンケート調査(tetoru・大学等を通じて参加を幅広く呼びかけ)
3. 実施時期
令和7年8月27日～9月10日まで(15日間)
4. 回答
5,964件



地域コミュニティに関する市民アンケート調査について

アンケートの結果(まとめ)

- 地域生活に困りごとがなく、組織への参加の動機づけが難しい層が存在。
(地域の困りごとは何か＝「特に困っていることはない」40%が最多)
- 地域活動は、高齢者の参加が多い。(70歳以上は62%が参加)
世帯構成では二世帯世帯(44%)、居住形態では賃貸マンション(26%)は低い傾向。
- 不参加の理由は、「時間・体力がない」が多い。(70.2%)
特に子育て世代は他の世代より「時間・体力がない」の傾向が強い。

ニーズ・目的・テーマを入口として地域活動・「互助」への参加

デジタル活用で「情報が届く」「自分に合う参加方法・時間帯が選べる」

地域コミュニティに関する市民アンケート調査について

アンケートの結果(まとめ)

- 目的・テーマによっては地域外からも参加する。
(地域外活動に参加12%「祭り・イベント」「清掃活動」「子育て活動」)

「エリア」を活動範囲として、多様な主体が連携するプラットフォームを通じた地域課題の解決へ

- 地域の困りごとや今後必要な活動は「ごみ」「防犯」「防災」「子育て」など
人の生命・健康と関連するもので、地域活動で得たいものは、「安心・安全」
(地域活動で得たいもの＝「地域全体への安心感・愛着」45.7%が最多)

地域の役割をスリム化し、「人のつながり」に注力

継続的な安心・安全のためには、地域の資源が循環する仕組みづくりが必要

Kitakyushu **Action!**

動かせ、未来。北九州市

持続可能な地域コミュニティの形成にチャレンジ！



※ビジョン策定に関する情報は
こちらのQRコードを読み込みください。